

●ヒマラヤで進む氷河の減少

ヒマラヤ山脈、ネパール東部のAX010氷河。
 左から、1978年、1989年、2004年の氷河の様子。
 だんだんと氷河が減少しているのが一目瞭然と分かる。いずれも名古屋大学環境学研究所・雪氷圏変動研究室。



第1章
添付資料

●写真で検証する
 ひろがり続ける
 地球温暖化の影響

近年「氷河が減少している」というニュースをよく耳にします。ヨーロッパアルプスやヒマラヤ山脈など、多くの氷河が存在していますが、実際に、どの氷河も一様に減少の傾向にあるようです。この他にも、シベリアの永久凍土も溶けてきているとの報告もあります。世界各地の氷河や永久凍土、そして北極海の海水などの溶けゆく氷は、地球規模の急激な気温・気候の変化に耐えきれない「自然の叫び声」なのかもしれません。(永久凍土：1年中凍っている土壌。地球の陸地の約20%に広がる)

―氷河や北極の海水が消える？

地球温暖化の影響が最も顕著に見られ「地球温暖化の証人」ともいわれるのが世界各地の溶けゆく氷河です。

ヨーロッパアルプスの氷河は気温の上昇によってほとんどの氷河が減少してきています。また、ヨーロッパアルプスやヒマラヤだけでなく、世界各地で氷河の減少が報告されています。グリーンランドやアフリカのケニヤ山、南アメリカ南端部のパタゴニアなどで、いずれも氷河の減少するペースが速まってきたようです。

世界各地の氷河と並び、温暖化の影響を最も早く受けるのが北極です。北極海の海水面積は、1950年には年平均で1300万平方kmありました。そして2007年9月の観測では、これまでの最小となる425・5万平方kmを記録しました。

北極海の氷の縮小は北極海の生態系に大きな影響を及ぼしています。その代表的な例がホッキョクグマです。北極海の生態系の頂点に君臨するホッキョクグマは、氷の下を泳ぐアザラシを主食としますが、氷がなくなれば待ち伏せして捕らえることができなくなります。

ホッキョクグマは、これまで手厚い保護政策により約2万5000頭にまで個体数が回復してきましたが、温暖化によってふたたび絶滅の危機に瀕しています。この先50年間で現在の3分の1にまで減少してしまうとアメリカ地質調査所では予測しています。

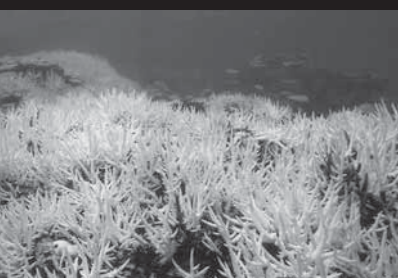
―世界各地で温暖化による気候変動が

温暖化の影響と考えられる気候の変動は、すでに世界各地で起き始めています。近年とくに顕著なのが、熱波や

干ばつなどの異常気象、それに伴う森林火災などの増加です。洪水やハリケーン(台風)などの自然災害も増えています。2002年にはエチオピアを干ばつが襲い、その年の穀物収穫量は平年の20%にまで落ち込んでしまったといわれています。また2003年にはヨーロッパを熱波が襲い、フランスでは死者が1万数千人に達したと報告されました。同年、ロシアやポルトガルでは大規模な森林火災が発生し甚大な被害をもたらしています。



海拔の低い島国ツバル・フナフチ島(首都) 大潮の満潮時には沸き上がった水によって低地は冠水してしまう 海岸の浸食も進んでいる
 photo masaaki nakajima



沖縄県 慶良間列島・阿嘉島周辺のサンゴ礁の白化 この状態が続くとサンゴは死滅してしまう
 photo 阿嘉島臨界研究所



ホンジュラス・カリブ海沿岸の町トルヒーヨ 大型ハリケーン「ミッチ」が直撃し、町が水浸しとなった 温暖化が進むとハリケーンなど熱帯低気圧の威力が強まるといわれている
 photo AYUCA